

文 葛西得男

text by Tokuo Kasai

「保育」の原点

内 藤先生には本当にいろいろな場所に同行させて頂きました。海外だけでも10数回は同行させて頂いたと記憶しています。

内藤先生が、海外の人々から「育児の神様」と丁度呼ばれ始めた頃に一緒にさせて頂け、本当に光栄に思っています。

海外で内藤先生が認められ、尊敬されていられるのを目の当たりにさせて頂いたのですから、内藤先生との出会いに感謝せずにはいられませんでした。

日本ではすでに学会の頂点に立っておられた内藤先生でしたが、アメリカでは、所詮はアジアの小児科医とされている医学者、学者の方々もおられたのではないかと思います。

それに欧米の人たちは、自分たちよりアジア人の医学者が優れているなどとは認めたくも無かったのだろう、と今にして思うのです。

戦後、アメリカの育児が日本にも影響を与え、乳児の頭の格好が良くなるのと成長が早いという事などで広まった「うつぶせ寝」。早くからうつぶせ寝の危険性を訴えた内藤先生は、世界の医学界から相当な圧力、批判を受けられたそうですが、一貫して危険性を訴え続けたのでした。

そして、ようやく近年になって赤ちゃんの突然死の原因の一つとして「うつぶせ寝」が世界の医学界で証明されたというのは周知の事実です。

その他、ミルクのアレルギー問題など内藤先生の伝説をあげれば、枚挙にいとまが無いのです。

その頃の内藤先生は、60有余年に渡っての小児科の臨床医としての経験、研鑽から得た育児学が完成、集大成の時期に差し掛かっていたのでしよう。実践から学んだ内藤先生の育児学は他の育児学とは一線を画したものになって

いたに違いありませんでした。内藤先生の海外での講演を聞いた人々から、次第に驚きと賞賛の声が上がっていきました。

その中でも私が一番印象に残っているのは、1991年の内藤先生の「講演の旅」でした。

ロサンゼルスではレーガン大統領にお目にかかり、サンフランシスコではノーベル賞学者の方々と会食、ボストンではハーバード大学の学長と会議、ニューヨークでは講演と非常にタイトなスケジュールでありました。そしてニューヨークでの講演の際、シユバイツァー博愛賞の選考委員会の人々が参加されており、内藤先生の講演をお聞きになり、感動され、シユバイツァー博愛賞を是非とも内藤先生に差し上げたいという話になりました。

シユバイツァー博愛賞は1968年に人間行為財団によって設立され、ダ

のでした。

授賞式は1992年4月21日ニューヨークパークアベニューのセント・パソロミュー教会で肅々と執り行われたのですが、この日から世界は内藤先生のことを「育児の神様」と呼ぶようになったのでした。

「育児の神様」。まさに内藤先生のためにあるような言葉だと思います。



内藤寿七郎博士

医療と保険の世界に幅広く指導を続けられ、母と子のために尽力、貢献されたことが高く評価された

ライ・ラマ14世陛下、南アフリカのデズモンド・ムピロ・ツツ大主教、コスタリカのアリアス大統領達も受賞されている、権威ある素晴らしく栄光ある賞なのです。

60年を超える小児科学の研鑽、小児

子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、**3**つのことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松稲会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アプリケアとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松稲会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号

TEL: 06-6696-1177 (代)

FAX: 06-6696-1273

E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F

TEL: 06-4964-0717

FAX: 06-4964-0710

- マザーシップ船場東保育園
- マザーシップ新梅田保育園
- マザーシップ西宮北口保育園
- マザーシップ保育園森の家



Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アプリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アプリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アプリカ葛西副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。